



令和4年(2022年)9月10日発行

## ごみ収集日程表(10月~3月)

7~10ページ ▶ 抜き取ってご使用ください

⚠ 催しへの参加は感染対策の徹底を。催しなどは中止・延期の場合あり

発行/名張市 秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp

### 徹底検証

問 環境対策室 ☎ 63-7496

# ごみに混ぜるな危険！ 「リチウム電池」は衝撃で発火します

小型家電やモバイルバッテリーに入っている電池

#### 電池類は発火の恐れあり



消防本部予防室 藤山 尚樹

小型家電やおもちゃには、さまざまな電池が入っています。「リチウム電池」は強い衝撃や破損で発火。乾電池やボタン電池も通電すれば、発火する恐れがあります。**処分するときは電池を**

**取り出してください！**

※スマホや電子タバコなど電池が取り出せないものは、「小型家電」として出してください。

ごみとして出された電池類



#### 電池類は資源ごみへ！

今年7月に収集した「燃やさないごみ」42.1tを調べると、なんと45.7kgの電池が含まれていました。同じく発火の危険性のあるライターは169個、スプレー缶は516本(うち、中身入りが101本)に上りました。**「燃やすごみ・燃やさないごみ」に絶対に混ぜないでください！**(詳しくは7ページ)

ごみが燃えて、クリーンセンターやごみ収集車は何度も火災が発生しています。ごみの回収がストップして、皆さんの生活に大きな影響を及ぼすことを忘れないでください。



環境対策室 城戸 悠馬

衝撃で電池が燃えるか、やってみよう



モバイルバッテリー  
衝撃・破損



実験は、消防職員立会いのもと行いました。大変危険ですので、絶対にマネをしないでください。

#### 驚きの実験映像を あなたの目で！

YouTube

TikTok



モバイルバッテリーの衝撃実験映像

実際に出されたごみ袋から出てきたモバイルバッテリーです。あなたが出したごみから発火したとしたら...それでも分別しないんですか？